# 履修の手引き

#### 学校法人桜花学園 建学の精神

Philosophy behind the Foundation

### 心豊かで、気品に富み、洗練された近代女性の育成

Instilling a sense of grace and refinement in the heart and minds of modern women

創設者の大渓 専(おおたに もはら)先生は、宗教家であり、社会活動家であり、そして教育者でした。先生は人格教育を重んじ、日常生活の中での実践を何より大切にする方でした。

そして宗教精神に基づく女子教育を創設の理念として、その具体化を建学の精神に盛り込みました。

その意味するところは極めて哲学的であり、時代の変化に左右されることのない、永遠の目標を内容としており、現在の各学校で受け継がれています。

Mohara Ohtani, the founder of the school, was a ma of religion, a social activist and an educator. He valued humane education and treasured the practice in everyday life. He aimed a school for girls' education based on religious spirit and materialized it as the Philosophy behind the Foundation of the school.

It's meaning is extremely philosophical. It indicates an eternal aim which is unaffected by the change of time, and it is inherited in every schools run by Ohkagakuen.

## 目次

桜花学園大学のカリキュラムポリシーとディプロマポリシー、目指す教師像・保育士像
ン一、日指9 教師像・保育士像 カリキュラムポリシー・・・・・・・・・・・ 3
大学の授業9
教育保育学部·····19
国際学部 · · · · · · · · · 57
学則、諸規程101
教育・保育実習について
学生生活······179

桜花学園大学のカリキュラムポリシーとディ プロマポリシー、目指す教師像・保育士像 カリキュラムポリシー

## 桜花学園大学のカリキュラムポリシーとディプロマポリシー、目指す教師像・保育士像カリキュラムポリシー

桜花学園大学は、建学の精神に基づき「信念ある人」を育成することを基本目的とし、幅 広い知識を授け、高い教養と専門的能力、豊かな人間性をかねそなえた優れた人材を育成し、 深く真理を探究して新たな知見を創造し、その成果を広く社会に提供することにより、社会 の発展に寄与することを社会的使命とする。

桜花学園大学は、各学部・学科が定める教育目的・教育目標に基づき、学生に幅広い教養的知識を提供する「共通教育科目」と各学部学科において求められる専門的知識・技能を修得するための「専門教育科目」の2本の柱でカリキュラムを編成する。

「共通教育科目」は、幅広い視野を育成し、多面的・論理的な思考力とグローバルなコミュニケーション能力を養い、総合的な人間力を身につけることを目的とする。各学部の「専門教育科目」は、専門的な知識と技能を身につけ、社会の変化に対応し、現代の多様な課題を解決し、社会に貢献できる能力の育成を目的とする。

免許・資格については、段階的・体系的に学修できるようカリキュラムを編成する。

#### ディプロマポリシー

桜花学園大学は、建学の精神に基づき「信念ある人」を育成することを基本目的とし、幅 広い知識を授け、高い教養と専門的能力、豊かな人間性をかねそなえた優れた人材を育成し、 深く真理を探究して新たな知見を創造し、その成果を広く社会に提供することにより、社会 の発展に寄与することを社会的使命とする。

各学部の教育目的・教育目標に沿って設定された教育課程を履修し、厳格な成績評価を経て、幅広く専門的知識と教養を修得することにより、現代の多様な課題を発見、分析、解決し、社会に貢献できる能力を身につけたと認められる者に対して学士の学位を授与する。

#### 桜花学園大学が目指す教師像・保育士像

#### 【教師像】

学習指導要領等を踏まえた幅広い基本的知識・理解に基づき、個々の幼児・児童・生徒に適した実践を自ら省察しつつ指導技術の向上に努め、社会的変化に対応できるよう他者と連携・協働しながら、教育専門職としての倫理観と社会貢献に資する意識をもって実践することができる豊かな人間性を兼ね備えた教師。

#### 【保育士像】

児童福祉法や保育所保育指針等を踏まえた幅広い基本的知識・理解に基づき、個々の乳幼児・児童に適した保育や養護を自ら省察しつつ援助技術の向上に 努め、社会的変化に対応できるよう他者と連携・協働しながら、保育専門職としての倫理観と社会貢献に資する意識をもって実践することができる豊かな人間性を兼ね備えた保育士。

## ディプロマポリシー(DP)に基づく学修指標とルーブリック

#### 1. 学修指標とは

「何ができるようになるのか」、学修により達成する能力を具体的に示したものです。

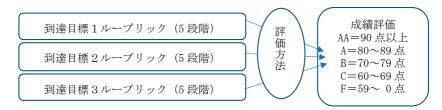
#### 2. ルーブリックとは

従来のテストでは測ることが難しかったパフォーマンス (レポートやプレゼンテーション、議論やグループワークなど)を評価する基準です。評価の観点と学修者の到達度を一覧表にします。これにより、評価の明確化、公正化を実現します。

## 3. 教養科目「桜花学」「基礎科目」のルーブリック

#### ①ルーブリックと成績評価基準

到達目標ごとのルーブリックを集約した評価は成績評価と正比例します。



#### ②DP に基づく学修指標とルーブリック

※「DP」=ディプロマポリシー

#### 「桜花学」

DPに基づく	桜花学説明	評価の指標	ループリック				
学修指標	体化于机剂	計画の抽像	5	4	3	2	1
DP1,	●自分、人間、社会、世界、自然を理解するため、分離横	真理を追究する学修姿勢、幅広い知識の	人間の存在および人間の生	人間の存在および人間の生	人間の存在および人間の生	人間の存在および人間の生	一定の知識の習得と理解が
高い教養に	断的に基本的な教養的知識を身につける。	習得・体系的・総合的理解	み出した文化について幅広	み出した文化について知識	み出した文化に関する学修	み出した文化に関する学修	できず、体系的に関連付け
資する知	❷変化に富んだ社会的課題に対して真理を探究できる幅広		い知識を習得したうえで、	を習得したうえで、基礎的	を通して、既定の知識を習	を通して一定の知識を習得	ながら理解することができ
識・理解	い視野を身につける。		基礎的・総合的視野に基づ	視野に基づき、教養を体系	得し、体系的に関連付けな	することができるが、体系	ていない。
	❸人間の存在や文化を、自己の存在と関連付けながら、体		き、教養を体系的に関連付	的に関連付けながら課題を	がら課題を理解することが	的に関連付けながら課題を	
	系的・総合的に理解することができる。		けながら課題を理解するこ	理解することができる。	できる。	理解することができない。	
			とができる。				
DP2,	●母国語および外国語を用いて、口頭・文章等によって、	情報リテラシー(数量スキル、情報収集	情報を適正に管理し、場面	情報を管理し場面や相手の	他者とのやりとりに努め、	他者とのやりとりに努める	他者とのやりとりが見られ
課題発見・	場面や相手の特性を意識しながら発信できる。	力、情報活用力、情報分析力)	や相手の特性を意識しなが	特性を意識しながらやりと	提供された情報を閲覧し自	ことができるが、情報を解	ず、自己の意見を発信する
分析・解	❷自分、人間、社会、世界、自然に関する多様な情報をモ		ら、適切にやりとりをする	りをすることできる。	己の意見を形成・発信する	釈することができず自己の	ことができない。
決・発信等	ラルをもって質的量的に収集・加工・整理し、分析・解釈		ことができる。		ことができる。	意見を形成・発信すること	
の汎用的技	することができる。					ができない。	
能	●自分、人間、社会、世界、自然に関する多様な情報や知	批判的・論理的思考力、課題発見力、構	事象に対して学問分野を越	事象に対して既定の学問分	事象に対して基礎的・総合	事象に対して思考すること	事象に対して、思考、構想
	識を論理的に思考・分析・表現することができる。	想力	えて基礎的・総合的知識と	野における基礎的・総合的	的知識と一定の論理性を	はできるが、基礎的・総合	することができていない。
	●変化に富んだ現代の多様な公共的課題を、発見・判断・		論理性をもって思考し、変	知識と論理性をもって思考	もって思考し、課題を発	的知識と論理性をもって課	
	解決することができる。		化・発展する現代社会を見	し、変化・発展する現代社	見・構想することができ	題を発見・構想することが	
			通しながら、課題を発見・	会における課題を発見・構	<b>ర</b> .	できない。	
			構想することができる。	想することができる。			
DP3,	●自らのキャリア展望を主体的に考え、生涯にわたって自	自己管理力、持続力、倫理觀、社会的責	他者との活動において適切	他者との活動において自己	自己を管理し倫理観・責任	円滑な人間関係をもって他	他者と協働する姿勢が見ら
価値観・態	己の主体性を軸に学ぶ意欲を持つ。	任感、チームワーク力(コミュニケー	な自己管理と倫理観・責任	管理と倫理観・責任感を	感をもって他者と協働し、	者と協働することができる	れず問題解決への意欲が見
度・志向性	●関心とモラル責任感をもって、社会の一員としての役割	ション力、多様性受容力)	感をもって参加・協働し、	もって参加するよう努め、	問題解決に取り組むことが	が、問題解決に向けて役割	られない。
	を担おうとすることができる。		持続的な自己開発意欲のも	持続的な自己開発意欲のも	できる。	意識が見られない。	
	●幅広い知識に基づく理解力・思考力・判断力をもって、		と、創造的に問題解決に取	と、創造的に問題解決に取			
	社会へ広く発信することができる。		り組むことができる。	り組むことができる。			
	●多様性を尊重し異なる価値観を有する他者とともに、信						
	念をもって持続可能な社会を創り上げるために積極的に関						
	与することができる。						
DP4.	●獲得した知識と総合的視野、多面的・論理的な思考力と	総合力	今まで習得・蓄積した分野	今まで習得した知識と理解	既有の知識と理解に基づ	既有の知識と理解に基づき	既有の知識と理解を生かし
統合的な学	コミュニケーション能力等をもとに、新たな知見を創造す		を越えた幅広い知識と理解	に基づき、多面的・論理的	き、多面的・論理的に思考	思考を働かせることができ	た思考ができず、他者と共
習経験と創	ることができる。		を生かし、多面的・論理的	に思考しながら、社会の発	しながら、他者と共に何ら	るが、他者と共に何らかの	に知見を見出すこともでき
造的思考力	●変化に富んだ多様な現代的課題に最新の知見を適用し、		に思考しながら、社会の発	展に資する新たな知見を他	かの知見を見出そうとする	知見を見出すことができな	ない。
	他者と共に解決することで、持続可能な社会の発展に寄与		展に資する新たな知見を他	者と創造しようとすること	ことができる。	v.	
	することができる。		者と共に創造することがで	ができる。			
			≇ ನ 。			[	
	1		1	1	1	1	1

## 「基礎科目」

DPに基づく		ループリック						
学修指標	共通教育説明	5	4	3	2	1		
DP1. 高い教養に 資する知 識・理解	諸課題に対して、真理を深く探究することができ る。	識を習得し、真理を追	結びつけることができ	自己の専門性と結びつ	一定の知識を習得する ことができるが、学修 した内容を自己の専門 せあるいは幅広い分野 と結びつけることがで きない。	知識の習得と理解ができていない。		
DP2. 課題発見・ 分析・解 決・発信等 の汎用的技 能	きるグローバルなコミュニケーション能力を身に	場面や相手の特性を意	情報を管理し、場面や 相手の特性を意識しな がらやりとりをするこ とができる。	め、提供された情報を 閲覧し自己の意見を形	めることができるが、	られず、自己の意見を 発信することができな		
		野を越えた多様な視点 と論理性をもって思考	て思考し、人間や社会	理性をもって思考し、 課題を発見・構想する	ことはできるが、論理			
	●自らのキャリア展望を主体的に考え、生涯にわたって自己の主体性を軸に学ぶ意欲を持つ。 倒剛心と干り、責任感をもって、社会の一員と しての役割を担おうとすることができる。 ●編広・知識に基づく理解力・思考力・判断力を もって、社会へ広く発信することができる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	他者との活動におい で、選切な自己管理と は理動力・責任働し、持続 のおな自己管理を加・関係を制力 のなり、 のは、 のは、 のは のは のは のは のは のは のは のは のは のは のは のは のは	もって参加・協働する よう努め、持続的な自 己開発意欲のもと、創			の参加する姿勢が見ら れず、問題解決への意		
習経験と創		分野を越えた幅広い知 識と理解を生かし、多 様な視点から多面的・ 論理的に思考しなが	的に思考し、社会の発 展に資する新たな知見 を他者と創造しようと	づき、多様な視点から 多面的・論理的に思考	づき思考を働かせるこ とができるが、他者と 共に何らかの知見を見	かした思考ができず、 他者と共に知見を見出		

## 4. 共通教育科目「桜花学」「基礎科目」のカリキュラムマップ

## ①カリキュラムマップとは

DP に基づく学修指標と各授業科目との関係を示す一覧表です。学修指標(卒業までに身につける能力)のためにそれぞれの授業科目が果たす役割(どの学修指標と関連が深いか)を示します。

※専門科目を含む全体の教育課程表は、学部ごとのページに掲載しています。

#### (教育保育学部)

◎-深い関連がある、○-関連がある(空欄は全く関連がないわけではない)

区分				○ = 深い関連がある、(	○-関連がある (空間は全く関連がないわけではない)					
					DPに基づく学修指標					
		7	授業科目	科目ナンバー	DP1. 高い教養に資する	DP2、課題発見・分析・解	DP3,価値観・態度・志	DP4. 統合的な学習経験		
-	164	п			知識・理解	決・発信等の汎用的技能	向性	と創造的思考力		
1	PX	分	ライフコース論	0K11L0001	<u> </u>		Õ			
	No.	を 知	ジェンダー論	0K11L0002	<u> </u>		<u> </u>			
1	*	る人	自分と家族	0K11L0003	0		0			
H.		問	芸術の世界	OK11L0101	©		0			
1	r-q-	ė	ことばの世界	0K11L0102	©		0			
l I.		90	心の探求	0K11L0103	©		0			
l I'	۱	さ社	生き方の探求	0K11L0104	0		0			
		会会	生活と経済	0K12L0201	<u> </u>		Ō			
[	^	90	地域社会	0K12L0202	©		0			
l I.	⊦	る世	人間と歴史	0K12L0203	©		0			
1	90	39.	異文化理解	0K12L0301 0K12L0302	0		<u> </u>			
l I.		ė	日本の文化		0		0			
1	re	知る自	国際関係論	0K12L0303	0		<u> </u>			
	ŀ		グローバル社会と宗教 環境の科学	0K12L0304 0K21L0401	© ©		0			
*	学	然を	原現の科子 含と生命の科学	***************************************	***************************************		0			
		900		0K21L0402	©		·····			
	1	る が 健	生き物の社会	0K21L0403	0		0			
		1 186	スポーツ健康論	0K12K1001	©		<u> </u>			
		園.	スポーツI	0K22K1001	<u> </u>		©			
П	- 1	係ス報数	スポーツⅡ	0K22K1002	0		0			
П		リ量	統計学	0K22K1101	0	<u> </u>				
	J	テカラス	社会調査法	0K22K1101		0	0			
	J	シキール	情報社会論	OK22K1102 OK11K1101	©	0	0			
		関 -	コンピュータI			<u> </u>				
	ŀ	係情	コンピュータ II NGO・NPO論	0K12K1101	0	0				
			現代社会と企業	0K31K1201	<u> </u>	©				
			地域協力演習	0K31K1202	0	©	© 0			
		社会	地域協力損害 インターンシップ(国内)A	0K31K1203 0K21K1201		0	0			
		貢献	インターンシップ (国内) B	0K21K1201		0				
		RIS.	インターンシップ (海外) A	0K12K1202		8	© ©			
全学		楽体	インターンシップ (海外) B	0K12K1201			0			
共			インターンシップ (海外) C	0K12K1202			8	0		
通		傾係	インターンシップ (海外) D	0K12K1203			0	ŏ		
科目			ボランティア(海外)	0K12K1205		0	0			
			海外英語資格実習	0K21K1203		Ö	0			
	ŀ	7	総合英語I	OK11K1301	0	0				
		1:2	総合英語Ⅱ	0K12K1301	Ö	0				
		1	総合英語Ⅲ	0K21K1301	Ö	©				
	遊遊	バル	総合英語IV	0K22K1301	Ö	<u> </u>	***************************************			
*	8F 3F	化	英語コミュニケーション I	OK31K1301		©		0		
'	1	ic.	英語コミュニケーションⅡ	0K32K1301		0		Ö		
	J	対	英語コミュニケーションⅢ	0K41K1301		©		0		
		応	英語コミュニケーションIV	0K42K1301		©		0		
	J	L	ボルトガル語と文化I	0K11K1302	0	0				
		たコ	ポルトガル語と文化Ⅱ	0K12K1302	0	0				
	- [	3	スペイン語と文化 I	OK11K1303	Ō	0				
		_	スペイン語と文化 II	0K12K1303	0	0				
		=	フランス語と文化 I	0K11K1304	0	0				
	J	$^{\mathcal{F}}$	フランス語と文化 II	0K12K1304	0	0				
П		1	中国語と文化Ⅰ	0K11K1305	0	0				
	J	ار ا	中国語と文化Ⅱ	0K12K1305	0	©				
		ン	中国語と文化Ⅲ	0K21K1302	0	0				
	- [	ンス	中国語と文化IV	0K22K1302	0	0				
		*	韓国語と文化Ⅰ	OK11K1306	0	0				
П		n	韓国語と文化Ⅱ	0K12K1306	0	0				
	J	网	韓国語と文化Ⅲ	0K21K1303	0	©				
	L	係	韓国語と文化IV	0K22K1303	0	0				
		<del>10</del>	日本国憲法	0K22K1401	0	0	ļ			
	J		海外研修A	0K21K1401		0	0			
			海外研修B	0K21K1402		_	0	0		
			基礎演習 I	OK11K1401		0		0		
		合	基礎演習Ⅱ ①他学部層修科目	0K12K1401		0		0		
	FS. C	ンエクリス	②大学間連携科目				1			
L [1	H :	リス	③愛知学長懇話会科目 ④資格認定		1		1			
	_	_	3/ 54 11F 60 /C			1	1	l		

## (国際学部)

国際学部 国際学科 共通教育カリキュラムマップ ◎=深い関連がある、○=関連がある

国際	学部	国際学科 共通教育カリキュラ	フムマップ (	<ul><li>○=深い関連があ</li></ul>	る、○=関連があ	る	
1					DPに基づく	(学修指標	
区	分	授業科目名	科目ナンバー	DP1. 高い教養に資す る知識・理解	DP2. 課題発見・分析・ 解決・発信等の汎 用的技能	DP3. 価値観・態度・志 向性	DP4. 統合的な学習経験 と創造的思考力
		ライフコース論	OK11L0001	0		0	
	Ī	ジェンダー論	0K11L0002	0		0	
		自分と家族	OK11L0003	0		0	
		芸術の世界	OK11L0101	0		0	
		ことばの世界	0K11L0102	©		0	
	ľ	心の探求	OK11L0103	_ ©		0	***************************************
		生き方の探求	0K11L0104	0		Ö	
	教	生活と経済	0K12L0201	©		Ö	
	養科目	地域社会	0K12L0202	©		Ö	
		人間と歴史	0K12L0203	<u> </u>		0	
		異文化理解	0K12L0301	0		0	
		日本の文化	0K12L0302	(0)		Ö	
		国際関係論	0K12L0303	0		0	
		グローバル社会と宗教	0K12L0304	0		Ö	
		環境の科学	0K21L0401	0		0	
		食と生命の科学	0K21L0401	0		0	
1		生き物の社会	0K21L0402	0		<u> </u>	
		スポーツ健康論	OK12K1001	0		0	
		スポーツI	0K22K1001	Ö			
	ŀ	スポーツⅡ	0K22K1001	<u> </u>		<u> </u>	
	ŀ	統計学	0K21K1101	Ö	0		
	ŀ	社会調査法	0K21K1101		0	0	
	ŀ	情報社会論	0K22K1101		0	0	
		コンピュータ I	OK11K1101	0	0		
		コンピュータⅡ	OK12K1101	Ö	0		
		NGO・NPO論	0K31K1201	Ö	0		
##:	ŀ	現代社会と企業	OK31K1201	0		©	
通	基礎	地域協力演習	0K31K1202	<u> </u>	0	0	
教		インターンシップ(国内)A	0K21K1203		Ö	0	
育		インターンシップ (国内) B	0K21K1201 0K21K1202		0	0	
科目		インターンシップ(海外)A	OK21K1202		<u> </u>	<u>-</u>	
		インターンシップ (海外) B			0		
		インターンシップ(海外)C	OK12K12O2 OK12K12O3				
		インターンシップ(海外)D					0
		ボランティア(国内)	OK12K12O4		0		0
		ボランティア(海外)	OK12K12O5		9	<u> </u>	
			OK12K1206				·
	科	海外英語資格実習	0K21K1203	0	O (0)	©	
	目	ポルトガル語と文化 I ポルトガル語と文化 II	OK11K1302	0	0		
		スペイン語と文化I	0K12K1302	0	0		
		スペイン語と文化 I スペイン語と文化 II	OK11K1303 OK12K1303	0	0		
		フランス語と文化 I	0K12K1303	<u> </u>	0		
		フランス語と文化Ⅱ フランス語と文化Ⅲ	OK11K1304 OK12K1304	Ö	0		ļ
		中国語と文化 I	0K11K1304	<u>-</u>	0		
					0		
		中国語と文化Ⅱ 中国語と文化Ⅲ	0K12K1305	0	0		
		中国語と文化IV	0K21K1302 0K22K1302	0	0		
		韓国語と文化I	0K2ZK130Z	0	0		
		韓国語と文化Ⅱ	0K12K1306	<u> </u>	0		
				0	0		ļ
		韓国語と文化Ⅲ 韓国語と文化Ⅳ	0K21K1303 0K22K1303	0	0		
					0		
		日本国憲法 海外研修 A	0K22K1401	0	0	©	
		海外研修B	OK21K1401 OK21K1402			0	0
		基礎演習 I	0K21K1402 0K11K1401		0	9	6
		基礎演習Ⅱ			0		0
		左傾側首 II エクステンション科目	OK12K1401 OK00K2001	<del> </del>			9
ь		一ノハノイノコイ作日	OKOOKZUUI	I	I		L